

複合経営型医療法人の グループ経営力強化セミナー

～複数の病院、介護保険施設等を抱える複合型グループ力最大化のための
経営管理体制・人材マネジメントのあり方を提言します～

参加のおすすめ

近年、病院を核とし、急性期病院から介護保険施設、訪問・在宅看護、介護等まで、いわば保険・医療・福祉の分野にわたって垂直的に展開する医療グループ経営が一般化しつつあり、今や複合経営という言葉も定着化しています。しかし、急性期病院なら急性期病院をチェーン的に経営する水平的展開はもとより、垂直的展開においては、①**地域的な拡大**、②**施設数の拡大**、③**サービスの拡大**、④**職種・職員数の拡大**により、マネジメントが複雑化して管理統制が難しくなります。グループ全体と個々の事業ごとのマネジメント体制が効果的に機能しない場合、複合経営の目指す医療マーケティング面の戦略効果も実現せず、また収益拡大にも繋がらないおそれが大きくなります。

グループ力を最大化するためには、グループ共通基盤の強化と運用におけるシナジー効果の発揮を主眼として、(1) **理念・ビジョンの浸透**、(2) **グループ組織の最適化** (特に本部のコントロールタワー機能)、(3) **グループ人材マネジメント**、(4) **グループITインフラ**、(5) **グループ連結管理会計**の5つの視点において、個々のグループの戦略と実態にあわせ、それぞれの実現を図らなければなりません。

そこで、今回のセミナーではまず、課題(1)～(3)の解決に向けた手法(ソリューション)と、実際に進めていくにあたってご留意いただきたいポイントを解説致します。

日時	平成23年12月8日(木) 13:30～16:30 (13:00受付開始)		
会場	住友クラブ 大阪市西区江戸堀1-13-10 地下鉄四つ橋線肥後橋駅下車すぐ		
対象	医療法人理事長、法人本部長、院長、施設長、事務長等の皆様		
受講料	お1人様 5,250円(消費税込み)		
講師	株式会社 日本総合研究所 総合研究部門	主席研究員	荒木 栄
		上席主任研究員	加子 栄一
		研究員	綾 高徳

セミナープログラム (最後に30分程度個別質問の時間を用意しておりますのでご利用ください)

1. 病院グループ経営の現状と課題

- (1) 医療、介護経営のグループ化の現状
- (2) グループ増加に伴う経営の相乗効果と課題
- (3) グループ経営成功のカギ ～5つのファクター～

2. グループマネジメントにおける理念共有の重要性

- (1) 経営理念・ビジョン浸透のための実践策
- (2) ビジョンの構築方法 ～SWOT分析を通じて～

3. グループマネジメント体制(組織戦略)のあり方

- (1) 事業ポートフォリオによる各事業の再評価
- (2) グループをマネジメントする全体組織図の描き方
- (3) グループ本部組織の経営企画機能構築
- (4) 組織を活性化する縦串・横串の考え方と諸活動

4. グループ人材マネジメントのあり方

- (1) 拡大・複雑化する組織・人員「最適グループ人材マネジメント」の姿
- (2) 求心力・遠心力のバランスのとれたグループ本部の人事機能
- (3) グループの発展段階に応じた人事施策のステップ
- (4) 病院・介護施設固有の人事制度のあり方
- (5) マネジメント人材の登用・育成のあり方
- (6) 知識・スキル研修に劣らぬマネジメント研修体系のあり方
- (7) 整備の急がれるWLB(ワーク・ライフバランス)施策

5. 名刺交換、個別質問・相談

